



日本各地でこども記者活やく



9新聞社の記事交換スタート

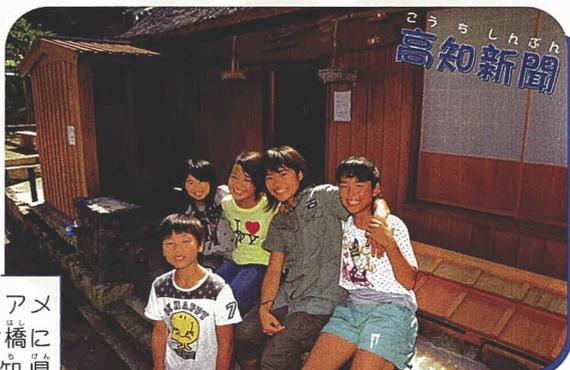
今月から、全国各地の子ども向けの紙面を交換する企画が信毎こども新聞で始まりました。長野県に信濃毎日新聞があるように、全国に「地方紙」とか「ブロック紙」とよばれる新聞社があります。参加するのは北は青森県、南は沖縄県まで9社。みんなと同じようにこども記者が各地の新聞社にいて、バラエティに富んだ話題を届けてくれます。そして、みんなが取材教室などに参加して書いてくれる記事も、全国の新聞にのることがあるということです！長野県のいいところ、誇れることなど、全国の友達

に知ってもらいたいことも考えながら取材してみてくださいね。「全国に誇れるこんなことを取材したい！」という提案も歓迎です。

ここでは記事交換に参加する新聞社のこども記者たちの活やくを、写真でしようかいするよ。これからは、毎月、どこかの新聞社の記事が信毎こども新聞にのる予定。全国のさまざまな話題への関心を深めるきっかけになるといいな…。

東奥日報(青森県)	河北新報(宮城県)	信濃毎日新聞(長野県)
福井新聞(福井県)	神戸新聞(兵庫県)	中国新聞(広島県)
高知新聞(高知県)	西日本新聞(福岡県)	琉球新報(沖縄県)

参加するのは9社



昔、日本とアメリカのかけ橋になった高知県出身のジョン万次郎についてこども記者が取材。写真は復元した生家です。



青森県八戸市の物産直売所で取材することも記者。記事は、東奥こども新聞にのったよ。



野生にコウノトリを呼び戻そうと計画が進む福井県。こども記者はコウノトリの飼育ケージ周辺で獣医師にインタビューしたり、えさ場となる無農薬田んぼの必要性などを市職員に聞きました。

貝の火

童話作家、宮沢賢治(1895~1933年)の「貝の火」を紹介。物語は、ウサギのホモイが、川でおぼれているヒバリの子どもを命がけて助けたところから始まります。そのお礼にもらったのがきれいに光り輝く「貝の火」という宝です。ホモイは宝を手にして、周りの仲間から尊敬されるようになり、頂上になってしまいます。さあ、大切な貝の火はどうなるのでしょうか…。



この本では、素直で優しいホモイが、みんなから尊敬のまなざしで見られて思い上がってしまう過程が書かれています。ちょっとしたきっかけがあれば、だれに起こってもおかしくないようなことです。だからこそ、正しい心、優しい心を持ち続ける難しさと大切さを感じます。

ホモイが悪いことをした時などには、お父さんがホモイをしかりたり注意したりしますが、その言葉は愛情にあふれてとても素敵です。また、ところどころにある油野誠一さんの挿絵がとても味わい深く、想像力をかき立てられます。短い物語の中に家族のあたたかいつながりがつまっていて、読んだ後、さわやかな気持ちになれると思います。

本のとびら

私の好きな

地域活動部 部長 宮崎静致



みなさんこんにちは。今月から、地域活動部のメンバーの自己紹介をかねた、「私の好きな〇〇」リレーを始めます。初回は私、宮崎静致です。先頭の特権で、勝手に「〇〇」を決めました。

①私の好きな**場所**
富士山の頂上です。好きなというか、最近好きになった場所です。高さ3776m、日本一高い場所は、雲よりも上にあって、ずっと遠くまで見渡せました。ただどね、高いところが本当に好きかという、実は苦手。先日、消防署のはしご車に乗せてもらったときは、下も見られず、緊張で汗をかいていました。

②私の好きな**季節**
夏です。50歳を過ぎたら、寒いのが苦手です。暑いのはあまり苦になりません。夏は時間があると、市民プールで泳いでいます。注意しないと、日焼けがしみになって残ってしまうのが、悩みです。

③私の好きな**テレビ番組**
NHK Eテレの「リトルチャロ」です。チャロはかわいいですよ。何年前のシリーズは、毎朝、会社に行く前に見ていました。ドラマも好きです。最近、よかったのは「泣くな、はらちゃん」。番組後、漫画本を振って見た人もいたのでは…。

次回は、毎週のこども新聞を担当している中山有季さん。中山さんへの質問は ①私の好きな食べ物 ②私の好きな色 ③私の好きな歴史上の人物。
では、中山さんよろしく！

本のとびら大募集!

みなさんのオススメの本を、記事でしようかいしてみませんか？あらすじや面白いところ、オススメの理由などを300~400文字程度にまとめてください。どんな紙に書いてもいいし、メールでもかまいません。原稿用紙が必要な場合は、地域活動部(電話026-236-3110)に連絡してください。本の題名と出版社名を教えてください。本の写真はこちらで用意します。記事を書いてくれたこども記者のみなさんには、なーのちゃんグッズをプレゼントします！

